

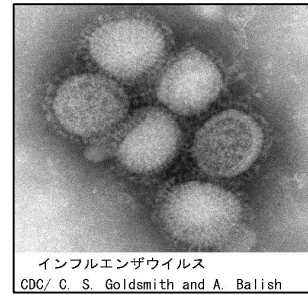
山口県感染症発生週報

(第11週:平成24年3月12日～3月18日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

◆結核: 第10週追加:1例(長門1例)。第11週:8例(岩国4例、周南2例、宇部2例)。



インフルエンザウイルス
CDC/ C. S. Goldsmith and A. Balish

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

◆インフルエンザ: 患者報告数は6週連続して減少し、すべての地域で警報レベルの終息基準値を下回りました。迅速検査では、A型陽性269例、B型陽性53例、A型B型陽性1例、臨床診断10例でした。また当所で、第10週の検体についてPCR検査を行った結果、AH3(香港型)が1例、B型が2例検出されています。

◆RSウイルス感染症: 萩は他地域と比較して多くみられます。

◆感染性胃腸炎: 例年と同程度の発生報告数ですが、周南、山口は他地域と比較して多くみられます。周南は今週警報レベルとなりました。【警報レベル=周南(新)】※

◆伝染性紅斑: 周南は警報レベルが続いています。【警報レベル=周南(9週目)】※

◆流行性耳下腺炎: 長門は警報レベルが続いています。【警報レベル=長門(15週目)】※

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2011/keihotyuuuiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	9週	10週	11週	疾患名	9週	10週	11週
インフルエンザ	1117	662	333	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	62	70	48	ヘルパンギーナ	0	3	1
咽頭結膜熱	14	14	5	流行性耳下腺炎	48	33	38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	159	133	117	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	481	522	537	流行性角結膜炎	8	12	1
水痘	65	70	65	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	0	0	1	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	16	20	21	マイコプラズマ肺炎	10	4	6
突発性発しん	37	33	31	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	88	30	33	55	11	19	70	13	14	333
RSウイルス感染症	14	4	6	4	1	1	9	1	8	48
咽頭結膜熱	0	0	0	2	0	2	0	0	1	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	28	17	6	20	4	27	6	3	6	117
感染性胃腸炎	93	38	13	160	24	89	92	11	17	537
水痘	8	5	3	10	5	12	19	2	1	65
手足口病	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
伝染性紅斑	2	0	0	14	1	3	1	0	0	21
突発性発しん	10	1	1	3	1	9	5	1	0	31
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	9	1	0	3	0	0	0	25	0	38
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	1	0	1	0	2	0	6
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 その他

・ロタウイルスによる胃腸炎の報告がやや多い状況です。例年4月頃に多くなっていますので、注意が必要です。

※平成24年3月28日に追加報告がありましたのでデータを一部修正しました。